

防犯 最新線

ブルパトくん走らせ見守り

第10話

香久山青色防犯パトロールグループ



パトロールに出発するメンバーら＝香久山会館前で

「先日学校に招待され、子どもたちから手紙と花束をもらいました」。一冊に束ねられた分厚い手紙。そこには児童たちの「いつもありがとう」という感謝の気持ちが丁寧に書き綴られている。2月に香久山小学校で開かれた「感謝の会」での出来事だ。香久山区の防犯グループの総括者、柴田正之さん（73）と岩永弘之さん（73）は「子どもたちのためにまた貢献しないといかんね」と目を細める。

グループは2006年10月に設立した。メンバー25人が愛用する青パト車両は、8年前に寄贈された宝くじ号。「ブルパトくん」の愛称で知られる安全のシンボルだ。香久山会館を拠点に週4日、下校時の交通安全と防犯啓発のため地区内をくまなく巡回する。防犯カメラも作動しているが、巡回では表通りから入った狭い路地を特に見回るほか、迷惑駐車車の監視も行っている。

3月1日未明にコンビニ強盗未遂事件が発生したが、幸い住民に影響がなくて済んだ。ところが「最近も空き巣の情報を耳にする」と話す。「被害のほとんどが夕暮れ時の時間帯。犯人は下調べをしてから実行するので留守を悟られないように注意して」と呼び掛けている。

メンバーの中には5年前、空き巣被害にあった人もいる。掃き出し窓のクレセント錠の近くを割られたが、もう一つの補助錠によって侵入を防いだ。後にその犯人は県警に逮捕された。県内外で数百件の忍び込み盗を繰り返す「平成の大泥棒」と呼ばれる男だったという。

同区は住宅・都市整備公団（現都市再生機構）による開発を経て1995年に発足。現在約6900人が暮らす。杉本良則区長（73）は地域の良さについて「ゆったりとした景観があつてしがらみがない。住民の学識経験者を活用した『香久山大学』も自慢。若々しさを引き出す伸びしろもある」と誇る。

メンバーの平均年齢は70代半ばとなったがまだまだ元気だ。柴田さんらは願う。「株山中央公園でグラウンドゴルフを楽しむ人が増えた。終のすみかとして安全で住みやすいまちであり続けたい」。〈広〉



児童から贈られた手紙

日進市に認定書交付

「くるりんぱす」を再編する日進市地域公共交通再編実施計画の認定書交付式が3月17日、国土交通省中部運輸局であり、鈴木昭久局長から萩野幸三市長に手渡されました＝写真。

竹の山や米野木台地区の人口増による地域分布の変化や、周辺のショッ

ピングモールの開業に伴う利用者増などを見込んだ8年ぶりの全線再編。4月から市役所を乗り換え拠点とした7コースで運行を開始します。赤池駅ー長久手古戦場駅を結ぶこれまでの中央線は名鉄バスに民間路線化し、最終便は午後10時台まで運行します。

